

令和3年度第1回岐阜県先端科学技術体験センター指定管理評価員会議

1 日時

令和3年8月25日 14:00～16:00

2 場所

岐阜県先端科学技術体験センター会議室

3 出席者（敬称略）

評価員 : 4名（小木曾 純子、高橋 信一、藤井 志保、三宅 崇）

[開催日時点評価員数：4名]

指定管理者 : (株) トータルメディア開発研究所 2名

中電興業(株) 1名

館職員 4名（館長、副館長、利用促進課長、総務課長）

岐阜県（事務局）：文化伝承課 3名（課長、教育文化係長、担当）

4 議題

- ・令和2年度の事業報告について

5 配布資料

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・指定管理者業務評価表、評価の考え方
- ・指定管理評価員会議設置要綱
- ・資料1「令和2年度 岐阜県先端科学技術体験センター 事業計画書」
- ・資料2「令和2年度 岐阜県先端科学技術体験センター 事業報告書」
- ・参考資料1「岐阜県先端科学技術体験センター管理運営業務仕様書」
- ・参考資料2「令和3年度・第1回岐阜県先端科学技術体験センター指定管理評価員会議 事業説明資料」

6 議事要旨

- ・資料に基づき令和2年度の事業について説明

【質疑応答等】

- ・ 三宅評価員
感染リスクの少ないプログラムを準備したとあったが、どのようなものか。
- ・ 指定管理者（副館長）
ワークショップにおいて利用者間で同じ器具を使用しないようにしたり、定員の半減等の対応を行った。
- ・ 藤井評価員
来館者の 6 割が県内のものということだが、コロナ禍により県内利用者のうち瑞浪市以外の学校の割合に変動はあったのか。
- ・ 指定管理者（総務課長）
大きく変化はなかった。
- ・ 高橋評価員
ホームページの事業紹介では、文書だけでなく動画も見られるようにした方が関心を引きやすいと思う。
- ・ 指定管理者（総務課長）
ご意見いただいたとおりに対応していきたいと思う。

【評価員による総評】

- ・ 小木曾評価員
コロナ禍において、説明にあったオンラインの利用は有効だと思う。また、オンラインだけでなく出張ワークショップにより直接体験できる事業も提供しているのは、子ども達にとって大切なことだと思う。今後もそれらを広く活用していただければと思う。
- ・ 高橋評価員
コロナ禍で休館や催し物の中止・人数制限等、通常とは違った状況の中で、非常に苦労したと思うが、特にオンライン対応での工夫が高く評価できる。
- ・ 藤井評価員
SNSの開設等、オンラインにより子どもたちにサイエンスワールドの面白さを伝えようとしており、その努力は評価できる。今尽力されているオンライン事業はこれからも頑張って取り組んでいただきたいと思う。
- ・ 三宅評価員
コロナ禍にあって出来る限りの取り組みをしていること、特に情報発信が充実してきたことについて評価できる。学校や家庭においてもこの1年でオンライン環境が整ってきたこともあるため、今後もオンラインワークショップというのは拡充の余地があると思う。

7 評価結果

評価項目	平均点
管理基準の充足状況	3.45
設置目的の充足状況	3.85
公共性の確保の状況	3.58
経営状況	3.50
派生的効果	3.38